

東武グループにおけるSDGsへの貢献

社会・環境の取り組みを振り返り、その内容をSDGsの観点に照らして取りまとめるとともに、本報告書記載の具体的な「提供する価値」は以下の通りです。

SDGs	主な取り組み(掲載ページ)	東武グループが提供する価値
	<ul style="list-style-type: none"> ●こども版社会環境報告書の発行(p.29) 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客様をはじめとしたステークホルダーの環境意識の向上による環境の保全
	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイバーシティ&インクルージョンの推進(p.37) 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが意欲的に仕事に取り組み始める職場と従業員の生産性や創造性の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道車両・施設の省エネルギー化(p.45) ●建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)に基づく第三者認証取得の商業施設の供給(p.45) ●NIKKO MaaS(p.31, 43) ●日光エリアにおけるカーボンニュートラルの推進(p.13, 43) ●再生可能エネルギーの「自己託送」制度を活用(p.44) ●太陽光発電事業(p.45) 	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネルギー化及び再生可能エネルギーの創出・利用による環境負荷低減及び持続可能な環境
	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援施設併設マンションの供給(p.26) ●在宅勤務対応型分譲住宅の供給(p.26) ●ワークスペースを備えた分譲マンションの供給(p.26) ●ワークスペース付き賃貸マンションの供給(p.27) ●サテライトオフィスの開設(p.27) ●シンフォニアマルシェの開催(p.34) 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な働き方が実現できる環境
	<ul style="list-style-type: none"> ●ホーム柵(可動式・固定式)の整備(p.23) ●車上データ監視装置「Remote」の利活用(p.46) ●太陽光・風などの自然エネルギーを活用したパッシブデザインの採用(p.47) 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・快適にご利用いただける輸送インフラ ●自然と共生する住環境
	<ul style="list-style-type: none"> ●車両・駅施設のバリアフリー対策(p.23) 	<ul style="list-style-type: none"> ●移動制約者をはじめ、あらゆるお客様が平等にご利用いただける環境
	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道施設における災害対策(p.23) ●鉄道立体化の推進(p.31) ●TOBU POINT 子育て応援プログラム(p.12, 26) 	<ul style="list-style-type: none"> ●被災を軽減し、安全性を向上した交通インフラと継続する輸送サービス ●安全性向上及び地域社会の一体化 ●子育てしやすい沿線環境
	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に配慮した資材の使用(p.48) ●農産物のフードロス課題の解決(p.30) 	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物量等の低減による持続可能な循環型社会 ●沿線地産の農産物廃棄抑制と生鮮野菜の消費者への供給
	<ul style="list-style-type: none"> ●NIKKO MaaS(p.31, 43) ●日光エリアにおけるカーボンニュートラルの推進(p.13, 43) ●低炭素熱供給事業(p.44) ●建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)に基づく第三者認証取得の商業施設の供給(p.45) ●再生可能エネルギーの「自己託送」制度の活用(p.44) ●太陽光発電事業(p.45) ●車両走行データの分析・活用(p.45) 	<ul style="list-style-type: none"> ●温室効果ガス削減を通じた気候変動抑制
	<ul style="list-style-type: none"> ●森林保全活動(p.15, 45) ●種の保存による生物多様性の保全(p.16, 48) 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林保全活動及び生物多様性の保全を通じた未来の地球環境保護
	<ul style="list-style-type: none"> ●機動的かつ公正なコーポレート・ガバナンス(p.19) ●情報セキュリティ及びサイバーセキュリティ体制強化(p.20) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ステークホルダーに対する信頼性の向上 ●サイバーリスクの排除、軽減による信頼性の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ●産・官・学連携による次世代まちづくりの推進(p.12, 47) ●鉄道立体化の推進(p.31) ●地域活性化施策(p.30) ●農産物のフードロス課題の解決(p.30) ●サプライヤーエンゲージメントの確保(p.34) ●国立公園オフィシャルパートナーシップ(p.48) 	<ul style="list-style-type: none"> ●パートナーシップ(産・官・学連携)による次世代まちづくり ●パートナーシップによるインフラ整備推進、地域社会の活性化 ●パートナーシップ(産・学・官連携)による社会課題(フードロス)の解決 ●持続したサービスの提供・共存する社会 ●国立公園の魅力発信と公園利用者拡大を通じた自然環境保全の重要性の理解度向上